

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すぶらうとこども発達サポート		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、看護師、理学療法士、作業療法士が常駐しており、他職種で連携ができています。	・活動後に振り返りを行い、個々に必要な対応や環境設定を検討し、職員間で共有している。	・施設内外の研修や勉強会等に積極的に参加し、個人のスキルアップを図る。
2	・医療的ケア児を含む重症心身障害児者への対応もしている。	・感覚刺激を入れたり、児に合ったコミュニケーション方法を取り入れ、楽しんで活動できるように努めている。 ・自分で選択する場面をつくる。	・継続して、個々に合わせたコミュニケーション方法を検討していく。
3	・同施設内に児童クラブがあり、交流ができる環境にある。	・長期休みや季節のイベントなどで、交流できる機会や一緒に楽しめる活動内容を調整している。	・定期的に関わりがもてるように計画をたてる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部への活動の発信が少ない。	・日中活動を外部へ発信する機会が少ない。 ・家族へは日中活動や避難訓練などの様子を発信している。	・個人情報取り扱いに留意し、取り組んでいる活動等を発信していく。
2	・活動内容や人数によってスペースが狭いことがある。	・活動部屋によっては、安全のため行動を制限することが必要になってしまう。	・活動内容や人数によって、研修室や外を有効的に活用していく。 ・安全な活動ができるように、引き続き環境を調整していく。
3			